

発行人 今村久美子 編集人 土屋和子

〒191-0041日野市南平2-56-10 <http://www.angel-hino.com/>

Tel&Fax 042-583-1528

特定非営利活動法人市民サポートセンター日野/郵便振替番号 00180-0-612689

# Link

Linkは、わたしたちのNPOが市民と市民、市民と行政、市民と事業者、市民と学校、子どもと大人といった様々な人々をリンク（Link：つなぐ）することを、そして心と心をつなぐことを目指しています

新年を迎えて…

## 「豊かな地域社会の形成に向けて、NPOにできること」

特定非営利活動法人市民サポートセンター日野 理事長 今村久美子

新年おめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりました。ありがとうございます。

「NPO法人市民サポートセンター日野」は創設以来5度目の新年を迎えました。この間皆様方には一方ならぬご支援を頂きまして心よりお礼を申し上げます。

1998年12月に「特定非営利活動促進法」が制定されて10年、NPOという言葉は日常的に広く使用される様になりました。しかしその概念については正確に理解されている状況には至っておりません。

「今なぜNPOなのか、そしてNPOが果たす社会的役割とは何か」を考える時、現代の社会問題があります。少子・高齢社会、国際化、高度情報化、環境問題、金融危機等々、様々な社会的課題が顕在する中で市民のニーズは多様化、複雑化、個別化しています。こうした多様な公共的ニーズや社会的変化に行政のみで対応することへの限界が指摘されるなか、使命感に基づいて社会的メッセージを発信し続けるNPOが行政、企業

と並ぶ第3のセクターとして期待されます。地域に密着し、自由度が高く、また柔軟な発想、先駆性、迅速性、そしてきめ細かなサービスを得意とするNPOは時代の要請と言えます。

今年度は新規事業として、日野市市民活動支援補助金を得て、地域が一体となって子育てを応援する事を目的に「らくらく子育て応援マップ」の作成を開始しました。また多摩平交流センターの指定管理者に選定され、2009年度より管理運営を開始します。指定管理者制度は2003年の地方自治法改正に伴って創設され、住民ニーズの多様化に的確に対応するために民間の能力を幅広く活用し、質の高い市民サービスを効果的、効率的に供給することを目的としています。社会の変化や人々の多様なニーズへのきめ細かな公共的、社会的サービスの供給主体として本年も全力で取り組んでまいります。

今後ともご理解とご支援をいただきますよう心よりお願い申し上げます。

## 「NPOのリーダーとして」

日野市企画部長 高橋 治

約20年前に「女性社会事業協会」が発足する時には、何をする組織なのかなかなか理解できませんでした。今思えば女性の社会的地位や役割の向上を目指す‘はしり’的な組織であり、平成15年11月のNPO法人化を目指すべき方向（「地域貢献事業」「子育て支援」「高齢者支援」を中心とする地域相互支援事業）がより明確になってきたと理解できるようになりました。

NPO法人化後、子育て支援・高齢者支援事業や施設の受付・管理等市の委託事業や自主事業など、守備範囲を広げていることは、NPO法人として着実に前進していることがわかります。

平成20年度は市民活動団体支援事業である補助金を活用して‘ひのママ「らくらく子育て応援マップ」づくり’を行なっています。この事業では、その地域にあった子育て支援情報をマップにする過程で、子育て中の親のアイデアが多く盛り込まれることやかわりを持った地域の人

材の育成を期待しています。

また、平成21年度から3年間「多摩平交流センター」管理運営の指定管理者としてお願いすることになりました。市民感覚できめ細やかな市民サービスを期待しております。ここでの実績が今後更なる拡大の可能性を秘めたものでもあります。

元々NPO法人は、地域に根ざした団体であり、小回りが利くという利点があります。しかし更に民間企業と伍してやって行くためには、加えて団体としての基本的な力量を持つ必要があります。それは「危機管理」「コンプライアンス」「苦情処理」「事務処理」…などの手順や認識の重要性を、各職員が身に付けるための研修を繰り返し行なうことであると思います。

今後、「市民サポートセンター日野」がNPOのリーダーとして、力量を増し先駆的な活動をして行くことを願っております。



## 多摩平交流センター指定管理者と「ふれ愛便利帖」

2009年度から日野市立交流センターのすべてが指定管理者により運営管理されることになりました。多摩平ふれあい館の開館以来5年近くにわたって、総合受付案内業務を受託してきた当NPOでは7月の指定管理者募集に応募しました。

3年間の事業計画のプレゼンテーションなどの選考を経て、このたび2009年度から2011年度までの3年間にわたり、多摩平交流センター指定管理者として管理運営することになりました。ふれあい館受付スタッフの方々の日頃の誠実な仕事ぶりや当NPOの活動姿勢に高い評価と信頼を得た結果ととらえ、2008年12月から準備作業を開始しています。

指定管理者になると、当NPOには今まで以上に、多摩平交流センターを拠点として市民交流を通してコミュニティ



多摩平の森ふれあい館

の形成を促進していく役割が課せられます。指定管理者には自主事業の実施が義務付けられていますが、当NPOは、過去5年間の受付スタッフの実績を形にしようと、「ふれ愛便利帖」の自主制作を提案しました。

ふれ愛便利帖とは、市民活動やサークルの情報を市民にわかりやすく提案できる小冊子です。今は受付スタッフがコツコツと情報収集しています。どのような冊子ができるか、お楽しみに。また、会員の方々から情報提供していただければ幸いです。

詳しい内容はLINKを通してお伝えしていきます。

(土屋和子)



受付の様子

## 日野市子ども支援事業「そだちあい」

そだちあい事業も2年目となり、今年度は多くの研修会を実施してきました。保育園・学童クラブ、それぞれに「体験型研修」「講義型研修」を行ないました。

保育園の講義型研修としては「保育所保育指針改定が問うもの」と題し、白梅学園大学教授、民秋言先生に講義をしていただき、全3回の参加者が、私立保育園・民間保育園を合せ、368名に上りました。学童クラブに対しては、1月に明星大学教授、西本絹子先生に講義を行なっていただく予定です。

体験型研修は、保育園・学童クラブ共に「ロールプレイから学ぶ 子ども・保護者・保育者の関わり」をテーマに研修会を行ないました。ロールプレイでは、保育者が子どもや保護者の役をし、そのときに感じる子どもの気持ち、保護者の気持ちを実際に体験していただきました。参加者からは、「普段、相手の気持ちを考えているようでも、実際その役になってみると、感じ方が違うことがわかった。」など、色々な気づきがあったとの意見が多く、また、保育園・学童クラブが同じテーマで研修を行なったため、双方に一体感のようなものが生まれ、今後の連携がとりやすくなったとの意見もありました。

今年4月より、そだちあい事業は3年目を迎えます。これまで2年間の経験・実績を活かし、今後もよりよい事業運営が出来るよう努めてまいります。

(室園理香子)



ロールプレイの様子



体験型研修討議の様子



講義型研修

## ファミリーサポーター養成講座

昨今のファミサポには、多様で複雑な活動が求められています。そのニーズに応えるべく提供会員育成のために、ファミリー・サポート・センター主催でファミリーサポーター養成講座『障がい児と高齢者援助・初級』を開催しました。

10月6日より30日まで全5日間、次のプログラムで実施しました。オリエンテーションからはじまり、コミュニケーション術、発達障害児について、発達障害児の援助・事例検討、高齢者援助について、高齢者メニューの調理実習と試食、参加者交流会で終了。



皆さん熱心に講義を受けています



調理実習。「早速今晚作ってみます」の声もありました

受講者42名のうち、全プログラムを受講した32名の方に、それぞれ事務局長よりねぎらいの言葉とともに初級修了証を渡しました。  
(森澤美和子)

## 地域の皆さんと共に 一杯のコーヒーから

カフェ営業時間

11:30~17:00(月曜日休業)



12月は店内もすっかりクリスマスに！

交流のスポットです。

11月中旬からはクリスマスレイアウトを施し、入口にはフラワーアレンジメントによるツリーも置かれ、クリスマス限定メニュー(ミルクティとパウンドケーキのセット)も増やしました。又、11月25日から12月25日までは開店時間を10時からにして、より多くの皆様にご利用いただける試みも行いました。受付スタッフの方々のご協力により、集会室ご利用の皆様にかフェメニュー一覧表を手渡していただいたりと、いろいろ工夫をこらしました。特にクリスマス限定メニューは人気がありました。

小さいお子様から地域に長く居られる方々まで、数多くの皆様に安心して安全なやさしいCafé Greenでありたいと、スタッフ一同努力してまいります。  
(三輪則子)

セピア色の魅惑的な香りのコーヒーは、昔から多くの小説や映画に登場し、心の癒しとしての一場面を作りあげてきました。近年はより軽快にカジュアルに楽しめるものへと変化しています。

コミュニティーカフェ「Café Green」は、ここ「ふれあい館」設立と同時にスタートをして早、5年目に入りました。エコブームである現代の生活に合わせ「環境にやさしいカフェ」作りを目指しています。

Café Greenのコーヒーの栽培は、熱帯雨林の生態系を守る森林農法(アグロフォレストリー)によるものであること。又、栽培生産元である生産者(生活水準が満たされていない地域の人々)の利益や暮らしを考えた公正な取引による貿易(フェアトレード)によるものです。そして当然ながら無農薬、有機栽培であり、消費者の皆様へは安心、安全な美味しいコーヒーを提供させて頂いています。

Café Greenからは、新しく建て替えられた団地「多摩平の森」に立つ、樹齢も古い、けやきの木々の季節ごとに移ろいゆく姿を眺めることができます。目にもやさしく、心も癒せるくつろぎと

# Café Green

### ◎メニュー

コーヒー……………280円	パウンドケーキ(3種)
コーヒー(大)……………320円	ラムレーズン・ココア・紅茶
アメリカン……………280円	1枚……………170円
カフェ・オレ……………330円	1本……………1,200円
アイスコーヒー……………320円	クッキー(5種)
アイス・オレ……………330円	チョコチップ・アーモンド・
紅茶……………280円	桑の葉・紅茶・人参
レモンティ……………300円	1枚……………40円
ミルクティ……………300円	1袋……………400円
アイスティ……………320円	
アイスレモンティ……………330円	ジェラート(ミルク)300円
アイスミルクティ……………330円	コーヒー(袋)
オレンジジュース……………230円	・ジャカラнда……………920円
	・インタグ……………920円
	紅茶(袋)……………650円





## らくらく子育て応援マップ



### \*子育て中だからこそこのマップ作り

2007年度から事業を開始した日野市0歳児一時保育「0歳児ステーションおむすび」で実施した「親そだち講座」に参加したお母さん達の多くは、他の子育て関連事業の施設利用や講座にも積極的に参加し、同じ立場のお母さん達同士で、交流したり情報を交換したり等、自身のライフスタイルも活動的な方が多くいらっしゃいました。一方、第一子出産の方が多く、初めての子育てに疑問や不安も抱えており、保育士、保健師、子育て相談員等の専門家に判断をゆだねる部分も見受けられます。

そこで、子育てを楽しんでいると感じ、この時期をより快適に過ごせるよう応援するマップを私たちNPOが一方向的に作るのではなく、現在子育て中のお母さんが町を歩き、情報を集め、それを編集し作り上げていく、そんな「子育て応援マップ」を作れないだろうかと思いました。



プロジェクト会議

この企画を日野市地域協働課が募集する平成20年度市民活動(NPO)活動支援補助金に「らくらく子育て応援マップ」事業として応募し、事業提案書とプレゼンテーション審査の結果、267,000

円の補助金をいただくことになりました。

また、日野市子ども部とも連携をし、おむつ替えや授乳のできる公共の施設「赤ちゃんほっとスペース」もマップに掲載することとなりました。

### \*商店会との連携

このマップは、子育て中のお母さんが自ら必要な情報を「集め、作る」という「情報マップ」面と地元商店会から子育てを応援するサービスを取材した「商店会マップ」面の2面構成としています。子育て中の親たちが地元商店会をもっと知って、利用し、お店の人やお客さん達ともコミュニケーションをとり、地域とのつながりを大切に感じ、日野で子育てを

し、暮らしたいと思えるようにしたいという目的があります。

今回、日野市産業振興課のご協力を得て「0歳児ステーションおむすび」がある高幡不動駅周辺の各商店会の役員方にマップの主



キックオフミーティング

旨を説明し、「地元商店会として、地域をあげて子育てを応援するサービス」の提供をお願いし、5つの商店会の57店から「子育て応援サービス」のご協力をいただくことができました。

9月26日には「らくらく子育て応援マップ」プロジェクトチームのメンバーである「ひのママ特派員」5名と地域協働課長、産業振興課長、産業振興課職員2名の皆様にお集りいただき「らくらく子育て応援マップ・キックオフミーティング」を開催いたしました。

2008年12月末現在、マップ作成のための情報は「ひのママ特派員」によって順調に集められ、マップの素案と情報整理の段階まで来ています。5名の「ひのママ特派員」の活発な取材報告は「0歳児ステーションおむすび」のブログ(<http://blog.goo.ne.jp/omusubi1011>)に掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

### \*進化するマップ

なお、今回の「らくらく子育て応援マップ」作成は、0歳児一時保育施設—0歳児ステーションおむすびのある高幡不動駅周辺から始めましたが、順次、豊田駅、日野駅等へと拡げて内容的にも進化していくマップを作って行きたいと思っています。

また「らくらく子育て応援マップ」制作プロジェクトに参加したお母さん達が次代を担う子育て応援リーダーとして、日野市の子育て支援の有力な人材になってくれることも期待しています。2009年3月末には、できあがった「らくらく子育て応援マップ」を3,4か月健診会場や市内公共施設などを中心に配布する予定です。皆様にも目に止めていただき、ご意見ご感想などいただければ幸いです。(岩出叔子)

### 編集後記

NPOスタートから5年、リンクも11号を発行することができました。この5年で事務局から見える景色も様変わりし、窓の外には高層住宅が並んでいます。その中でも、木々だけは変わらず同じ場所に根を張り、心の癒しになっています。(R)



### 2009年度NPO会員募集

NPOが活発な展開をするためには、NPOの趣旨の賛同し、活動を支援してくださる皆様のサポートなしには成り立ちません。ぜひ、会員の輪を広げるためにご協力をお願いします。

また、寄付も随時受け付けております。

一般会員(活動に参加して下さるひと) 1,000円

賛助会員(活動を支援して下さるひと) 3,000円

法人会員(活動を支援して下さる法人) 30,000円

運営会員(運営に積極的にかかわるひと) 10,000円

入会金(一般会員、運営会員のみ1,000円)

会員特典 年3回の会報をお届けし、主催講座やイベント等にご優待します。

